

ICOM ドバイ 2025 在外研修報告

和歌山県立近代美術館 主任学芸員

ICOM ICFA Chair

青木加苗

報告内容

- 在外派遣応募の目的
- ICOM Dubai 2025におけるICFAのテーマ
- ICセッション
- IC Day: オフサイトミーティング
- その他
- 収穫と課題：今後に向けて

在外派遣応募の目的

ICFA : IC for Museums and Collections of Fine Arts

2016– 2019 : 京都大会運営委員 (ICFA 窓口担当者/affiliated board member)

2019–2022 : ICFA Board member

2022–2025 : ICFA Chair

ICFA委員長としてドバイ大会での
IC活動を運営する

大会前年、 2024年のInternational Symposium in Dubai



International Symposium in Dubai 2024

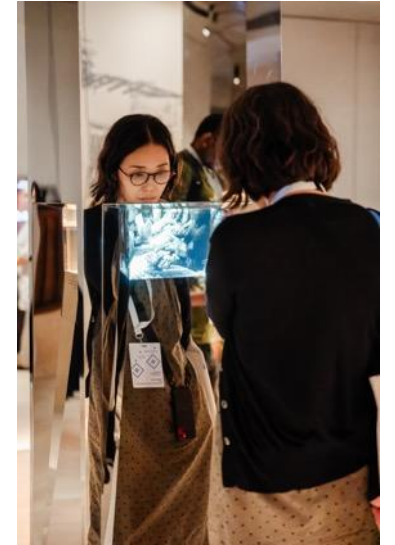


Photo: Dubai World Trade Center



ICOM Dubai 2025における ICFAのテーマ: **Art and Ethnicity**

“ 「美術/ fine art」という語は、西洋の文化的伝統に根ざしています。しかしあらゆる文化には、それぞれの「美術」という概念に沿いながらも、独自の芸術表現が存在しています。これら多様な芸術の伝統は、決して周縁的なものと見なされるべきではありません。視点を変えることで、むしろその重要性が明らかになるのです。

こうした芸術的な関わりをfine artという広い文脈に真に統合するためには、大きな努力が求められます。そして、その変化を推進する責任は私たちにあります。この目標に向けた第一歩は、より相対的な視点を採用し、自らの芸術的遺産の中にある民族的側面を認識し、理解することです。

今回、私たちはアラブの地に集います。この機会に多様な文化の糸を織り交ぜた、より包括的な芸術の風景を目指して、美術の伝統を豊かに繋ぐ「地図」を描くような議論を展開したいと考えています。

ICFA Annual Conference in Jaipur: 5/16–17, 2025

- Can Indian Art Be Global?
- What Does Fine Art Mean in Your Cultural Context?
- How Do You Display Art from Other Countries?



ICOM Dubai 2025におけるICFAのテーマ

Art and Ethnicity 美術とエスニシティ（民族性）

「fine arts」の課題

- 西欧文化に根ざした概念
- 委員会の概念自体を世界視野に広げる必要性
- 欧米における他地域の「art」の収集・展示＝民族学の視点
- 周縁性と非対称性を克服する＝fine artsのdecolonization

大会テーマ：The Future of Museums in Rapidly Changing Communities

IC セッション

- Traditions and Fusions – The Role of Museums in a Changing World
伝統と融合——変わりゆく世界における美術館の役割
- What Technology Enhances – Digital Innovation and Artistic Expression
技術がもたらすもの——デジタル革新と芸術表現
- Art and Creativity in Arab Cities: Transformation
アラブ都市における芸術と創造性——変容
CAMOCと合同開催



Traditions and Fusions – The Role of Museums in a Changing World

伝統と融合——変わりゆく世界
における美術館の役割

Intangible Heritage

急速に進むグローバル化と文化交流の時代において、芸術の伝統は他の影響との融合によって常に進化しています。文化的機関である美術館は、伝統の保存と現代の変化への適応という、二つの役割を担っています。本セッションでは、美術館が伝統的な芸術形式の保護と、新たなハイブリッド表現の受容との間で、どのようにバランスをとることができるのかを探ります。



What Technology Enhances – Digital Innovation and Artistic Expression

技術がもたらすもの——デジタル
革新と芸術表現

New Technologies

技術は芸術の創作・保存・鑑賞のあり方を根本から変えつつあります。美術館におけるデジタルキュレーション、AIによるアート、仮想現実の展示など、新たなテクノロジーは、多様な芸術の伝統に対して、機会と課題の両方をもたらします。本セッションでは、技術革新が芸術におけるエスニシティの理解を深め、文化間の隔たりを埋め、アクセス性を広げる可能性を探るとともに、文化の希薄化やデジタル排除といったリスクについても議論します。



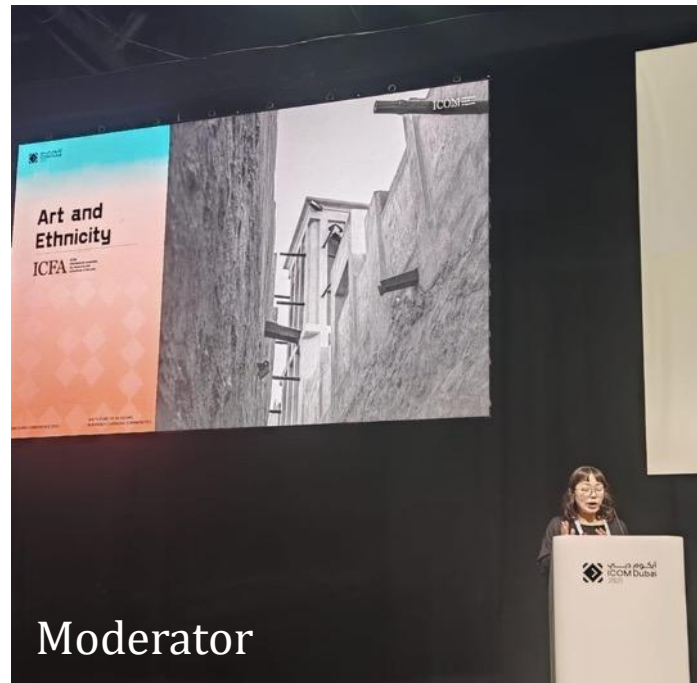
Art and Creativity in Arab Cities: Transformation

アラブ都市における芸術と創造性——変容

Youth Power

アラブの都市は、歴史の深み、現代の変容、未来へのビジョンを反映した、芸術的かつ創造的な表現があふれる活気ある文化の中心地です。このセッションでは、アラブ世界における都市空間と芸術実践の動的な関係を考察します。過去と現在の都市型アート運動、美術館の役割、都市主導の創造活動についての議論を通じて、都市の変化する風景の中で芸術がどのように形づくられ、また都市が芸術によってどのように形づくられていくのかを探ります。

IC セッション



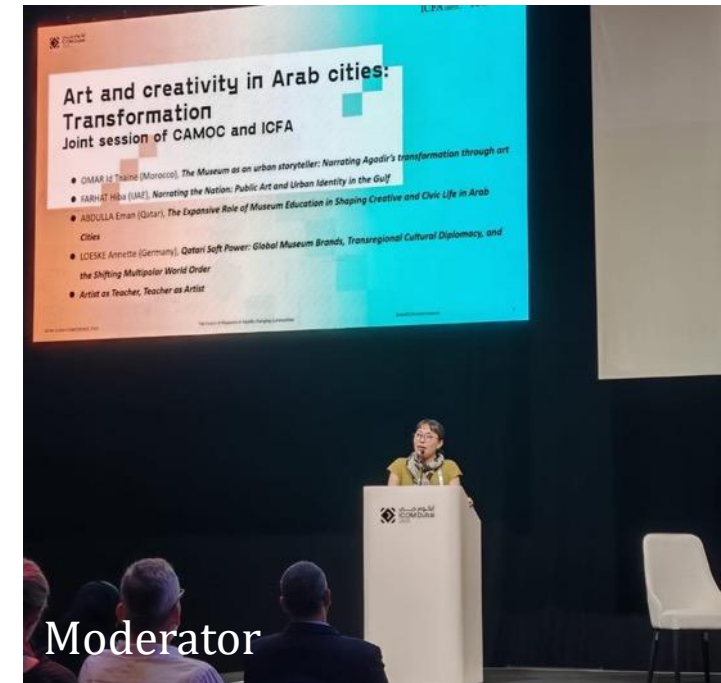
Traditions and Fusions – The Role of Museums in a Changing World

伝統と融合——変わりゆく世界における美術館の役割



What Technology Enhances – Digital Innovation and Artistic Expression

技術がもたらすもの——デジタル革新と芸術表現



Art and Creativity in Arab Cities: Transformation

アラブ都市における芸術と創造性——変容

IC Day: オフサイトミーティング

アイデンティティをキュレーションする：
シャールジャ美術館のコレクション形成

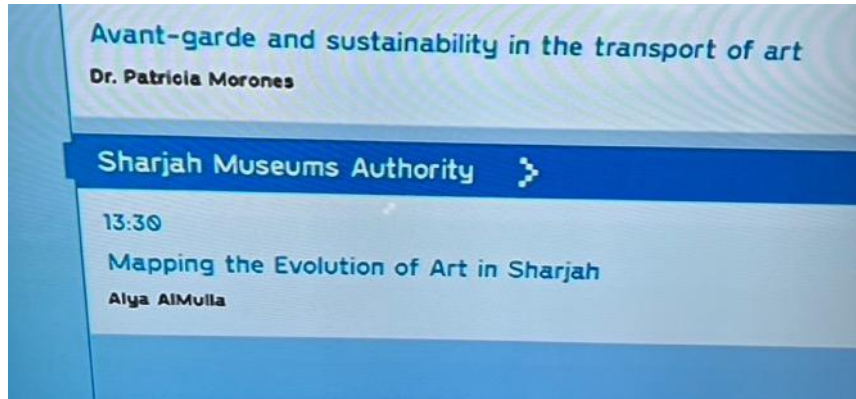
Curating Identity:
Collection Making at Sharjah Art Museum

新たな国（UAEとしての建国は1971年）
が自国、地域の美術史をどのように書こうとしているか

その際、西洋との関係はどのように位置付けられているか



シャールジャ美術館



Institutional and cultural milestones

- 1980s: Department of Culture, Government of Sharjah
- 1980: Emirates Fine Arts Society
- 1993: First edition of Sharjah Biennial
- 1997: Opening of Sharjah Art Museum
- 2006: Sharjah Museums Authority established
- 2009: Sharjah Art Foundation

Sharjah Biennial 2 - Poster
Image courtesy: SAF

Sharjah Art Museum opening, 1997
Courtesy: Al-Khaleej newspaper

Sharjah Expo Centre (aerial view), site of first Sharjah Biennial (1993)
Courtesy: SAF

IC Day: オフサイトミーティング

Sharjah Art Museum と Art Foundationを見学、ディスカッション





Horace Van Ruith (1839–1923)
Coffee Shop



Safeya Helmy Hussein (1923–)
Sugarcane Harvest
1962



Etimad el Taraboulsy (1914–)
Signing the Evacuation Agreement
1956



その他

11月9日出国
10日ドバイ着

現代美術のアートセンターJameel Arts Centre、ギャラリーコンプレックスAlserkal Avenueを調査。ICFAボードメンバーと打ち合わせ。

11月11日

午前：**国際委員会委員長会議**に出席。
国際委員会としての2025年Resolutions（提言）について議論と採決。内規改定ワーキンググループの報告、職業倫理規程の改定作業進捗報告、国際委員会の未来検討ワーキンググループの報告、国際委員会スポークスパーソンの選挙を実施。

午後：**諮問会議**に出席。
国内委員会、国際委員会から2025年Resolutions（提言）について報告。2025年補正予算および2026年暫定予算について報告。2026年事務局担当プロジェクトについての事務局報告。執行役員会議ガバナンスガイドライン部会報告。規則規約ワーキンググループ報告。職業倫理規程改定作業進捗作業報告。ICOM Define（定義委員会）報告。常設委員会およびワーキンググループの活動について質疑応答。ICOM-ITC活動報告。2025-2028執行役員選挙についてプロセス説明と候補者紹介。国内委員会・国際委員会Resolutions開票。2025-2028諮問委員会議長・副議長選挙開票。

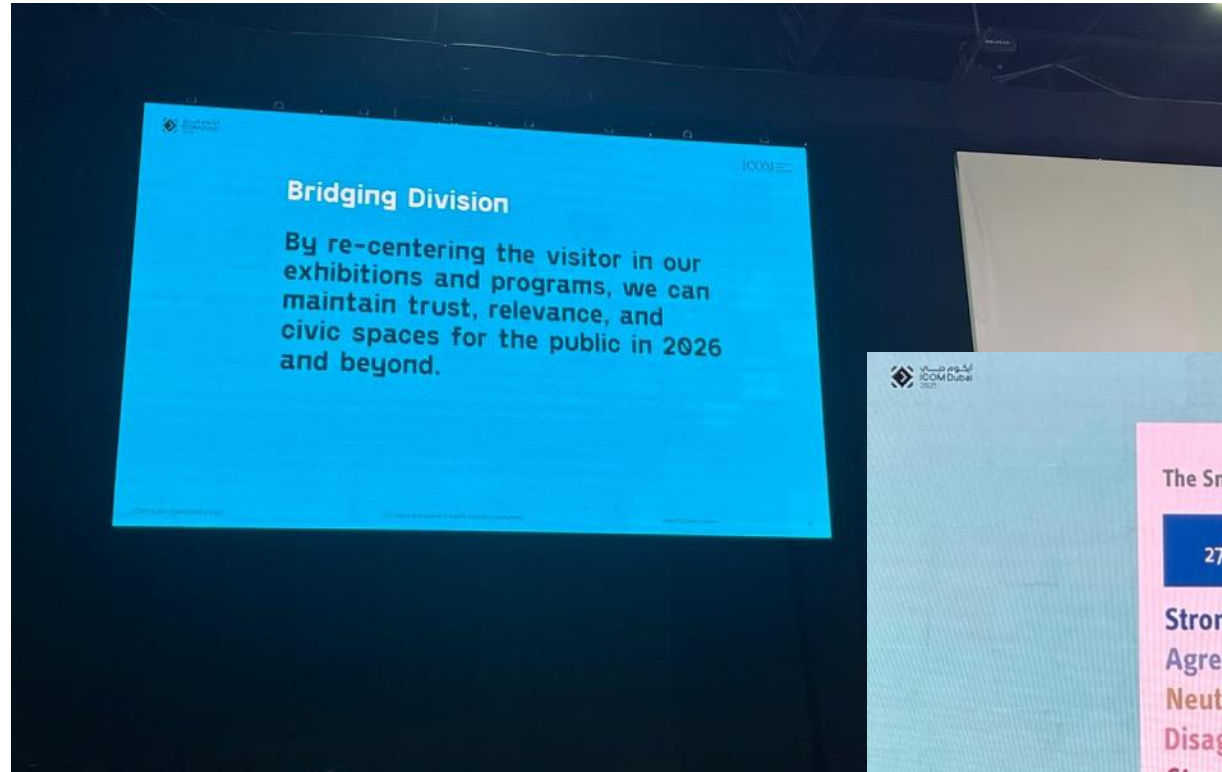
その他：各会議出席



- 11月12日 午前：開会セレモニー、各種基調講演等に参加。
午後：国際委員会セッションAおよびB。セッションAではモデレーターを務めた。
夕刻：ドバイエキスポシティにて開会イベントに参加。
- 11月13日 午前：基調講演等に参加。
午後：国際委員会セッションC。CAMOC（都市の博物館国際委員会）と合同セッションとし、モデレーターを務めた。
夕刻：ICOMアラブ、ICOMカタル主催のガラディナーに出席。各国代表者と意見交換。
- 11月14日 午前：基調講演等に参加。
午後：総会に出席。会長による年次報告。2024年決算報告および監査報告。総会決議案説明。2028年大会ホスト国投票。デジタル会員カード計画について報告。名誉会員承認について。各種開票。2025-2028執行役員選挙開票。
閉会セレモニー。
- 11月15日 IC Day。バスにてSharjahへ移動。Sharjah美術館と同地の美術財団と合同でオフサイトミーティングの実施。
- 11月16日 エクスカーション。アル・アインのアル・ジャヒリ要塞等を別委員会メンバーらと見学。
- 11月17日出国 同日帰国



Stephen E. Weil Memorial Lecture *Moments of Consequence: Reflections on Centering Visitors & Maintaining Public Trust* Lisa Sasaki



収穫と課題：今後に向けて

ICFA Chairとして／
日本の学芸員として

- 新たなボードメンバーの獲得
- 2026年以降の委員会活動
- 大会における日本委員会の活動
- 国際的な視野で「学ぶ」だけでなく、日本の学芸員は世界に対してどんな責任を果たすのか



ICOM ドバイ 2025 在外研修報告

和歌山県立近代美術館 主任学芸員

ICOM ICFA Chair

青木加苗